

柏崎体育

発行所 柏崎体育団

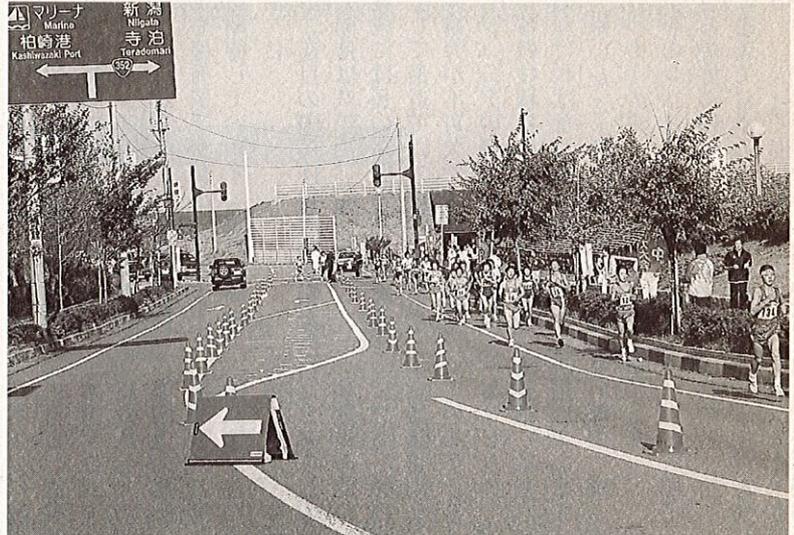
編集者 近藤康信

印刷所 (株)柏崎インサツ

《招待選手》



- ↑ ● 弘山晴美選手(資生堂) = 右
シドニーオリンピック女子1万mファイナリスト
- 弘山 勉コーチ = 左
同選手のコーチ



柏崎アクアパーク脇コース

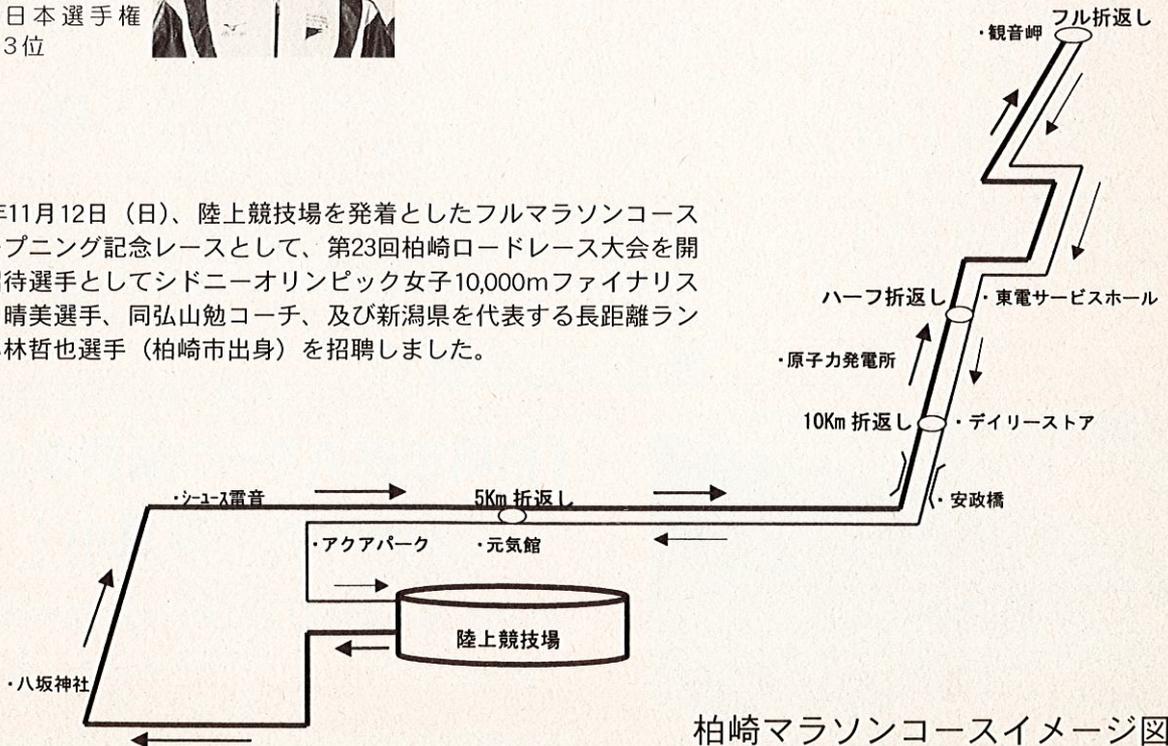


- 小林哲也選手
(福田組)
柏崎出身
2000年日本選手権
1500m 3位



柏崎ロードレース

2000年11月12日(日)、陸上競技場を発着としたフルマラソンコースのオープニング記念レースとして、第23回柏崎ロードレース大会を開催。招待選手としてシドニーオリンピック女子10,000mファイナリスト弘山晴美選手、同弘山勉コーチ、及び新潟県を代表する長距離ランナー小林哲也選手(柏崎市出身)を招聘しました。



柏崎マラソンコースイメージ図



年頭(二十一世紀)のあいさつ

柏崎体育団長 高 橋 保

新年明けましておめでとうございませう。

二十一世紀は「環境の世紀」自然を大切に守り、廃棄物を資源化する循環型社会をつくろうと努力されています。美しい自然との共生は人間の健康生活に欠かすことができません。

豊かな自然環境に恵まれた柏崎！かつては「体育の町」、日本でも古い陸上競技場のある町として全国から注目されてきました。

その当時、競技施設の管理団体として生まれたのが「刈羽郡体育協会」。昭和二十二年には、柏崎・刈羽地方の体育の振興を図るため「柏崎体育団」と名称を改め今日にいたりしました。現在加盟団体数は三七団体。「意気・活気・挑戦」をテーマに強い選手の育成、住民スポーツ活動の振興、組織の充実、財政基盤の確立(スポーツ振興基金の設立)の目標達成に力を注いでいます。

今年も新春体育懇親会の席上で「功労賞」と「指導者賞」が五人に贈られます。スポーツボランティアとして長い間献身的

に尽して大きな功績を残した尊敬される方々です。

恒例の「優秀体育人表彰」(二月第一土曜日)には、この一年間で、活躍したシニアからジュニアの選手が大勢表彰されます。その中に国際スポーツ大会に出場する高校生が二人「スポーツ栄誉賞」を受けます。「海と水の柏崎」にふさわしいサーフボードと水球の日本代表です。これに刺激されて他の種目でも優秀選手が輩出されることを期待しています。「強い柏崎復活」に。

二巡目の国民体育大会新潟大会開催は八年後。「強い選手」の育成には長い時間と多くの経費そして最近ではスポーツ医科学の協力が不可欠です。一日も早くジュニアの育成に総力をあげて各競技種目の水準の向上に努めなければなりません。

幸いなことに明年開かれるサッカーのワールドカップは、世界のレベルを目のあたりにできる絶好の機会です。この大会の影響で日本のスポーツ界もこれから大きく変わるでしょう。

柏崎体育団も新時代の潮流に遅れないよう「地域のスポーツの振興」「強い柏崎」の復活等に新しい考え方を取り入れ、積極的に活動、諸団体を支援するべく覚悟を新たにしております。

総理府が最近発表した「体力・スポーツに関する世論調査」によると、国際スポーツ大会の日本選手に対する関心度は過去最高の八七・二%。選手の競技水準向上のため「選手への経済的援助」に公的な援助が必要の声は八〇%台にのっています。一方、この一年間にスポーツをしたと答えた人は六八%で、しない理由の四割が「仕事が忙しい」でした。柏崎市の「運動生活・意識調査」でもスポーツを「行っている」と答えた人は二七・六%。「しない」は六五・六%、「必要感」は七六%と意外な結果に驚いています。ここでも「しない理由」は「する時間がない」でした。

不況で閉そく感の漂うこの時代こそ、少しでも時間を割いてスポーツを楽しみストレスを発散させるべきです。いろいろな

悩みも霧散するでしょう。

スポーツを通しての出会い、交流も意義深いものです。昭和五一年、東村山市とスポーツ交流が始まったのも太田先生(テニス)と今井元市長さん(陸上)の縁。その輪が広がって平成八年に姉妹都市提携、現在では産業・文化・経済交流にまで発展しています。「小さく生んで大きく育てよう」の合言葉が実をむすんだことになりました。

毎年、十二月に市総合体育館がいつぱいになる潮風旗少年剣道大会、小さい剣士でも静・動・礼儀をわきまえて見る人に感動を与えます。「スポーツは相手に勝つより己に克つ」を日ごろの修練で身につけているのです。さきのシドニーオリンピック柔道の決勝戦で負けた篠原選手「あれは自分が弱かったから負けた」「審判に不満はない」と自反している。彼こそほんとうの心のチャンピオン。

厳しいチャンピオンスポーツに自ら挑戦している選手達を育てる「スポーツ振興財団」をつくるのが二十一世紀の「夢」です。



第11回全国ソフトバレー・ファミリーフェスティバル

『柏崎市民スポーツ振興基金』

目標額1億円

募集中!

1人、一口 ￥1,000以上 個人、団体、法人等問わず

納入先: 事務局

- ①教育委員会体育課内 (野村)
- ②武道館内 (宮下)

柏崎体育団の概要 (団規約抜粋)

第2章 目的及び事業

第3条 本団は、柏崎市における総合体育団体である。

2 本団は、各種体育行事及び事業を実施するとともに、この地域内各種体育・スポーツ団体の連絡統一を図り、市民体育の健全な発達、振興に努めることを目的とする。

第4条 本団は、前条の目的を達成するため次の事業を行う。

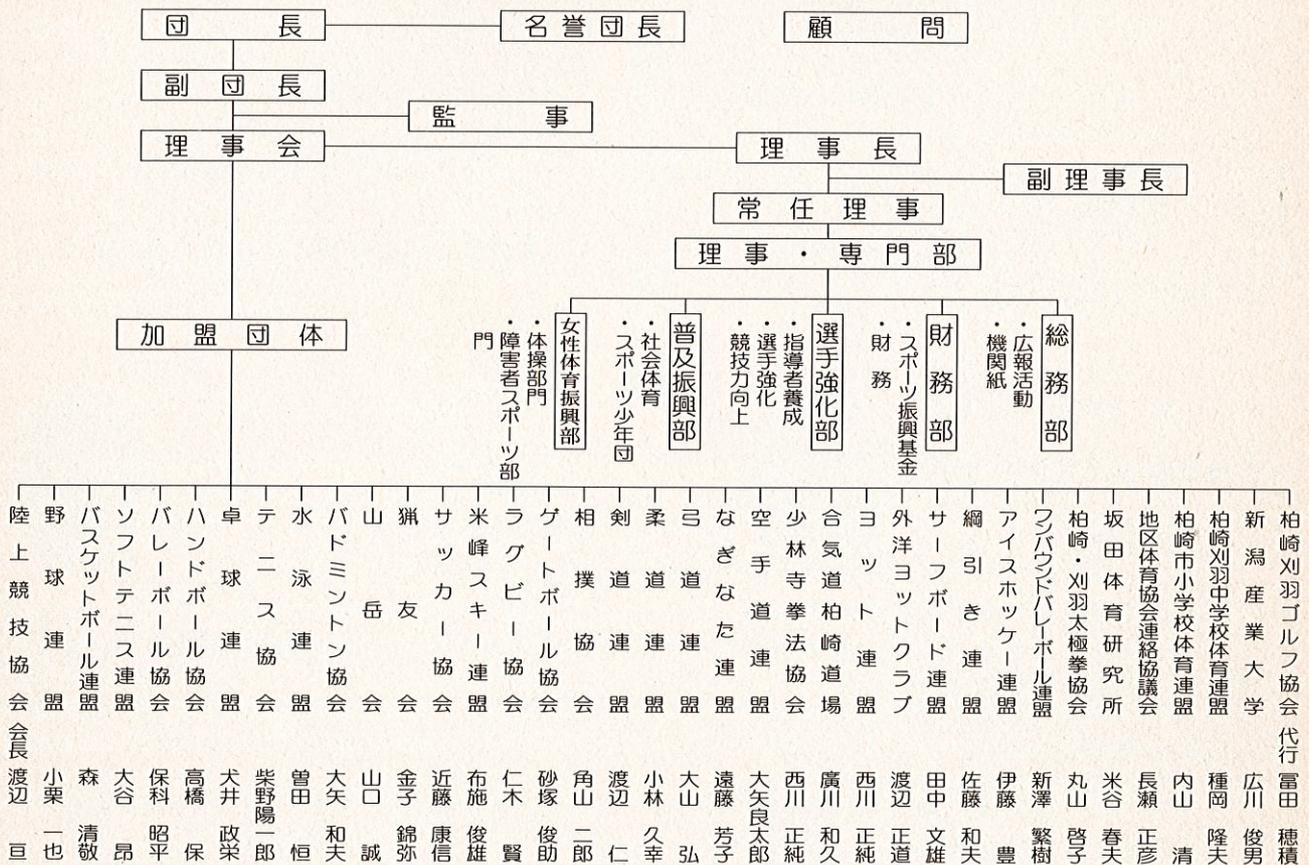
- (1) 市民体育に関する研究又は普及に関すること。
- (2) 指導者を育成するための研修会、講習会の開催。
- (3) 競技力を向上させるための実技指導の実施。
- (4) 市民の体育・スポーツ振興のための行事、事業の実施。
- (5) その他本団の目的達成のために必要なこと。

第3章 組 織

第5条 本団は、市内一地域を代表する地区体育組織の連絡協議会、種目別団体、学校体育団体、職域体育団体及びその他理事会において加盟を認められた団体をもって組織する。

2 本団の目的に賛同するものは、賛助会員となることができる。

< 柏崎体育団組織図 >



体育団事務局

①教育委員会体育課内

TEL 21-2362

FAX 23-0881

②柏崎市武道館内(事務担当:宮下真知子)

TEL 24-6741

FAX 24-6741

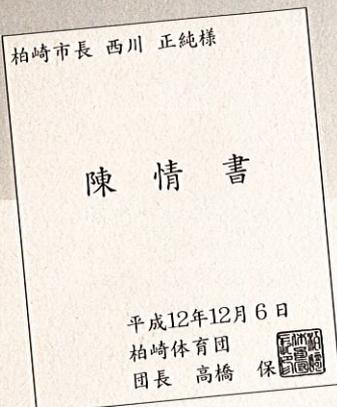
体育団の沿革

- ・大正11年11月20日 「刈羽郡体育協会」として発足
会 長 尾戸治作(刈羽郡長)
副会長 二宮伝右衛門(柏崎町長)
" 洲崎義郎(比角村長)
事務所 刈羽郡役所内
- ・大正12年4月29日 刈羽郡体育協会グラウンド建設工事請負契約成立
請負人 西中通村 川合子之治
大正12年5月1日 着工
" 8月26日 竣工
昭和5年12月22日 日本陸連乙種公認競技場に認定
- ・昭和16年2月1日 市制執行(昭和15年7月1日)に伴い柏崎市体育団と名称を改める。
- ・昭和22年4月1日 「柏崎体育団」と名称を改め、現在に至る。

《初のことろみ》

2000.12.6

体育団として市への一括陳情



昨年までは各協会・連盟等が個別におこなっていましたが、市への陳情を今年は体育団として一括して市長へお願いをすることとし、12月6日に団長・副団長・理事長他計7名で陳情を行いました。

陳 情 書

平素から本団の運営及び事業執行に格別のご指導、ご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、柏崎体育団では新世紀2009年開催の2巡目「新潟国体」に対して、本市体育スポーツの総括団体の自覚のもとに、新生スポーツ都市柏崎を目指し、その強化に新たな体制整備を感じ、取り組んでいるところです。

つきましては、その事業・財政の強化に向けて、市ご当局の特段のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

記

1 運営資金の強化について

本団では、かねてより「強い柏崎」を目指し、加盟団体の自助努力により、会員をはじめ、市民のご協力を得ながら、将来に生かされる「スポーツ振興基金」の確保に努めていますが、現状は大変厳しいものがあります。

つきましては、市ご当局より地域の活力源に資する体育・スポーツの運営強化費につきまして、ご高配をお願いいたします。

2 施設の整備について

生涯スポーツの人口増や競技規則等の改正による大会開催条件の変動により、施設の老朽化などを待たず改築、改善を必要とする現状にあります。

整備されている本市スポーツ施設ではありますが、全県レベルの大会開催の困難が指摘される施設もございますので、実態をご理解いただき、計画的改善・整備をお願いいたします。

なお、13年度の加盟団体からの陳情は次のとおりであります。是非実現に向け、ご高配をよろしくお願いいたします。(本文別紙)

- ・陸上競技協会…陸上競技場バックストレート側走路への写真判定機の設置について
- ・弓道連盟…武道館弓道場控え室の増設
- ・ソフトテニス連盟…駅前テニスコートの改修
- ・テニス協会…白竜テニスコートの整備
- ・野球連盟…荒浜野球場排水改良について
- ・ゲートボール協会…屋内ゲートボール場の設置について

優秀競技者賞

新潟県予選会5年男子一〇〇米
1位 15秒11

大澤彩芽(東中学校)

・第22回新潟県中学校1・2年
陸上競技記録会兼ジュニアオリ
ンピック予選会1年女子走高跳
1位 1m40

西潟真耶(第二中学校)

・第22回新潟県中学校1・2年
陸上競技記録会兼ジュニアオリ
ンピック予選会1年女子一〇〇
米ハードル 1位 16秒82

渡邊 梓(松浜中学校)

・第22回新潟県中学校1・2年
陸上競技記録会兼ジュニアオリ
ンピック予選会2年女子二〇〇
米 1位 27秒59

少年・少女親善オリンピック
長岡大会2年女子一〇〇米 1
位 13秒17

少年・少女親善オリンピック
長岡大会2年女子二〇〇米 1
位 27秒01

廣田 亮(第一中学校)

・新潟県通信陸上競技大会一
〇米ハードル 1位 15秒09
・北信越中学校陸上競技大会一
一〇米ハードル 2位 14秒84

鈴木 瑛(鏡が沖中学校)

・ジュニアオリンピック県選抜
リレーチームメンバー
本間政之(鏡が沖中学校)

鏡が沖中学校男子リレーチーム
(鏡が沖中学校)

本間政之 大図彰 猪浦拓也
鈴木瑛

・第14回柏崎陸上競技記録会男
子四×一〇〇米リレー県中学校
新記録 44秒17

鏡が沖中学校男子リレーチーム
(鏡が沖中学校)

・第14回柏崎陸上競技記録会男
子四×一〇〇米リレー県中学校
新記録 44秒17



のびのび元気スクール(リズム体操教室)



市民米山登山

分52秒

網嶋仁志(柏崎工業高等学校)

・新潟県高等学校選抜陸上競技
大会二〇〇米 1位 22秒05

柏崎工業高等学校陸上競技部
(柏崎工業高等学校)

・新潟県高等学校総合体育大会
陸上競技大会男子トラックの部
2位

柏崎市女子四〇〇米リレーチ
ム(柏崎市)

品田貴美子 矢代なぎ 石塚有
希 渡邊麻矢

・新潟県郡市対抗陸上競技大会
女子四×一〇〇米リレー 2位
50秒56

卓球

近藤功成(柏崎卓球連盟)

・全日本卓球選手権大会男子カ
ブの部 6位

藤井将大(柏崎卓球連盟)

・新潟県小学生卓球大会兼東ア
ジアグランプリホープス卓球大
会日本代表選手選考会県予選会
ホープス男子 1位

・第20回新潟県スポーツ少年団
総合体育大会卓球大会小学生男
子個人 1位

武藤麻加(柏崎卓球連盟)

・第20回新潟県スポーツ少年団
総合体育大会卓球大会小学生女

若山明仁(柏崎工業高等学校)

・第55回国民体育大会新潟県予
選会五〇〇米競歩 1位 23

競技者賞

陸上競技

佐藤雄太郎(比角小学校)
・全国小学校陸上競技交流大会

居合道

品田峯雄(柏崎剣道連盟)
・第35回全日本居合道大会(県
代表) 7段の部 ベスト8

優秀競技者賞

齋藤夏樹(柏崎高等学校)
・第16回日本ジュニア陸上競技
選手権大会一〇米ハードル
6位 14秒99

小柳茉美恵(鏡が沖中学校)

・全国中学校総合体育大会陸上
競技走高跳 4位 1M62

梅沢慶紀(柏崎工業高等学校)
・第53回全国高等学校総合体育
大会陸上競技四〇〇米ハードル
2位 51秒96

・第55回国民体育大会秋季大会
四〇〇米ハードル 2位 51秒
56

・新潟県高等学校総合体育大会
陸上競技大会一〇〇米ハードル
1位 15秒40

・新潟県高等学校選抜陸上競技
大会一〇〇米ハードル 1位

・第55回国民体育大会新潟県予
選会五〇〇米競歩 1位 23

・第55回国民体育大会新潟県予
選会五〇〇米競歩 1位 23